

ホームスタート・ジャパン 2025 年度日本財団助成事業  
住民寄り添い型伴走支援の社会資源開発モデル事業 委託先団体募集要項  
(家庭訪問子育て支援ホームスタート 地域スキーム開発モデル事業)

## 【趣旨】

本プログラムは、ホームスタート・ジャパンの日本財団助成事業の一環として、新たにホームスタートの地域スキームを設立する団体にスタートアップ資金とサポートを提供し、児童虐待を予防する住民寄り添い型伴走支援の地域資源開発を推進するために取り組む事業です。

地縁血縁の希薄化と少子化、誰にも頼れず育児不安やストレスが膨らみ虐待に至ってしまうケースが後を絶ちません。乳幼児期は親子の愛着形成が子どもの発達に大きな影響を与える時期ですが、親子一緒に過ごす時間に寄り添った訪問支援はまだ殆どなく、家事ヘルパーや託児などの代替支援や専門職による指導・スクリーニングでは解消できないニーズが現代の子育てにはあります。

ホームスタートは、ボランティアが寄り添い伴走する訪問活動により、孤立した親子が地域の子育て経験者となつながら、親のエンパワメントを通じて子どもの最善の利益をまもります。近所のおばちゃん流の身近で安心な訪問支援スキームの波及により、地域の子育て経験者の参画を促し、子育ての大変さも楽しさも分かち合える地域共生社会と児童虐待の早期予防の実現をめざします。

※ホームスタートとは、乳幼児がいる家庭に、地域の子育て経験者が週に1回2時間程度、定期的に訪問し、「傾聴」と「協働」をする無償ボランティアの活動です。素人性と当事者性を活かしながら、安心安全な訪問支援を提供できるように、質を担保するしくみが備わったプログラムです。詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。 [www.homestartjapan.org](http://www.homestartjapan.org)

## 【対象】

### 1 対象となる団体

- 子育て支援の経歴が3年以上の、非営利民間団体であること。
- 地域に「孤立したストレスの高い家庭の存在」があることへの気づきと、それに対応していこうとするモチベーションがあること。
- 運営母体組織の主要メンバーが、ホームスタートの仕組みに関する基礎的な理解（ホームスタートに関する講演会や報告会への参加や動画視聴等）があること。
- 訪問事業にオーガナイザーとして関わることができる、子育て支援経験3年以上の信頼の厚い人材がいること。
- 団体として、ホームスタート事業の導入と継続の意思決定と体制の確認が行われること。

### 2 対象となる経費・限度額

ホームスタートの活動実施に必要な経費 上限40万円※

※令和8年3月20日までにHSホームビジター養成講座を実施する場合は上限40万円。

※事業開始時期により、HSホームビジター養成講座を年度内に実施できない場合は、上限20万円とします。

経費例：オーガナイザー養成研修参加旅費、ホームビジター養成講座経費（講師謝金、会場費、チラシ印刷費等）、訪問交通費実費、広報用チラシの印刷費、通信費（切手・はがき、専用携帯電話代等）、事務消耗品費（文具、コピー用紙、専用書類保管用キャビネットや専用PC等の備品）、ボランティア保険、スキルアップのための研修費、オーガナイザー人件費など

※以下の費用は委託金の対象外となります。

- ・事務所家賃や光熱費などの按分経費
- ・ホームスタート事業以外の経費
- ・7万円を超える備品
- ・委託総額の2割を超える人件費
- ・ホームスタート・ジャパン団体会費

## 【申請方法】

### 1 対象期間

決定日～2026年3月20日迄

### 2 申請方法

#### （1）申請受付・決定時期

受付時期：新スキーム立上げ前の段階で随時（2025年1月末まで）

合計8団体への委託が決定次第、募集を締め切ります。

決定時期：申請後、1ヶ月以内

審査は、ホームスタート・ジャパン内に設置した審査会で実施。

#### （2）提出・問い合わせ先

ホームスタート・ジャパン事務局

住 所 〒169-0072 東京都新宿区大久保 3-10-1-B 棟 2F（237）

電 話 03-5287-5771

メール [startup@homestartjapan.org](mailto:startup@homestartjapan.org)

#### （3）申請手順

申請手続きには、①地域スキームの立上げ準備、②本プログラム申請の2段階の手続きが必要となります。

##### ① 地域スキームの立上げ準備

まずは、ホームスタート・ジャパン事務局までメールでご連絡ください。準備に必要な書類フォーム\*をお送りします。

（メール: [startup@homestartjapan.org](mailto:startup@homestartjapan.org) 電話：03-5287-5771）

- 「HSスキーム立上げ準備シート」\*の提出
- ホームスタート・ジャパンとのオンライン面談
  - スキーム設立条件（前述の「対象となる団体の条件」）の確認
  - オーガナイザー養成コースへの参加予定日と候補者の確認
  - 立上げに関する相談サポート
  - 申請書類・手続きと計画概要の確認（申請上限金額の確認）

## ② 本プログラムの申請

申請フォームは、オンライン面談後にお送りします。

- ホームスタート地域スキーム開発モデル事業応募用紙・予算書の提出（事業の柱）
  - ① オーガナイザーの養成
    - 研修参加予定日、参加予定者
    - ※本プログラム参加団体は3名まで研修参加費不要です。
    - 4名以上参加の場合は予算計上ください。
    - ※研修は全4日間全日程の参加が必要です。
    - 1～3日目：13時～17時、4日目：10時～17時
    - （研修日程・場所）
    - ・6月7-8-9-14日 最終日 愛媛県開催
    - ・8月1-2-3-9日 最終日 東京都開催
    - ・10月18-19-20-25日 最終日 九州開催
    - ・11月29-30-12月1-7日 最終日 福島県開催
    - ・1月17-18-19-24日 最終日 愛知県開催
    - ・3月7-8-9-15日 最終日 東京開催
    - ※日程・開催地は、参加希望状況に応じて変更する場合があります。
  - ② ホームビジターの募集（説明会開催、募集チラシ作成など、周知広報活動）
    - 募集時期、募集目標人数、実施内容、作成物など
  - ③ ホームビジターの養成（共通カリキュラムに沿った養成講座の開催）
    - 開催時期、開催予定場所、講師予定
  - ④ 利用家庭の募集（地域の関係機関への説明と周知協力依頼、チラシ・ポスターの設置等）
    - 募集開始、実施内容、
  - ⑤ 訪問活動
    - 開始時期、目標訪問家庭数
  - ⑥ その他
    - ホームスタート活動のために必要なもの
- 添付書類（書式は問いません。データでの提出、コピー郵送も可）
  - ・定款、会則または団体規約
  - ・役員名簿
  - ・申請の前度の活動報告書及び決算報告書
  - ・その他（団体の活動状況等が分かる資料等（例：団体のパンフレット・会報等）

#### (4) その他

- ・採択された場合、団体名、代表者名、委託金額、活動内容などを公表します。
- ・提出いただいた申請書、添付書類は、採用・不採用にかかわらず返却しません。
- ・申請書に記載されている個人情報、本事業以外の目的には利用しません。

### 【活動報告等について】

#### 1 活動実施報告書等の提出

委託金期間終了後、3月20日迄に活動報告のための下記書類を提出してください。

- ・活動報告書
- ・決算書
- ・支出対象の領収書など証憑のコピー

※領収書など証票類の管理・保管は団体ごとに事業終了後5年間実施してください。必要に応じて閲覧・照会等を行うことがあります。

※委託金の余剰が発生する場合は、3月20日までにホームスタート・ジャパン指定口座へ返納いただきます。

#### 2 委託金の返還

下記の事実が明らかになった場合は、委託金の返還を求めます。

- (1) 申請内容に虚偽があることが判明したとき
- (2) 正当な理由無しに活動報告書等が所定期限内に提出されないとき
- (3) 委託金を対象活動または対象経費以外に使用したとき
- (4) 活動を中止したり、また所定期間内に完了できなかったとき 等